



第15回

あらかしコンサート



日時 平成23年1月22日(土曜日) 14:00～ 1時間程度

会場 佐賀県立美術館ホール

音響照明 株式会社 西日本企画サービス

特別協力 瀬戸 要 <アルモニア管弦楽団>

主催 佐賀県芸術文化育成基金 佐賀県立博物館・美術館

【 出演者紹介 （出演者提供） 】

☆メンバー(左から)☆



よしはらとしろう
吉原敏郎 (Percussion)

えがみこうし
江上耕思 (Flute, Clarinet)

ますい
増井ゆかり (Piano)

かしいあいこ
香椎愛子 (Marimba)

ますだ
増田さおり (語り)

小さい頃から、家にたくさんの絵本とおはなしを聴く環境がありました。

よく覚えているのは、淡い水彩色のおやゆびひめがつばめを手当てる場面。こども心に恐ろしかった、アラジンをだます魔法使いのしわの手。眠るときにおばあちゃんが話してくれたごんべさんの畑。戦争の音。そして、定期的に届く絵本に埋め込まれていた『おはなしテープ』。このカセットテープは、音楽にのせて物語が展開する、とても素敵で楽しいものでした。今でもオーケストラで「くるみわり人形」を演奏するときは、いつもあの絵本が思い浮かびます。

私の本好きはそうして始まりました。演奏の仕事をするようになった今は、いつかあの『おはなしテープ』のように情景が伝わるような音楽を、プロの生の演奏でつくりたいと思うようになりました。

その中で、仕合わせ（しあわせ）のように私の演奏会に来てくれていた増田さん(語り)との出会い、『絵本と音楽』の活動が始まりました。

今日は、いつも素晴らしいピアノを弾いてくださる増井さん(pf)、昨年教職を退官された恩師の江上先生(cl)、吉原先生(perc)と演奏できる、私にとって幸せな記念すべきステージです。

香椎愛子

よしはら としろう

★吉原敏郎★ 国立音楽大学器楽科打楽器専攻卒業。岡田知之、故小森宗太郎各氏に師事。小・中学校校長を歴任し、平成22年3月に退職。現在フリーの演奏家として活躍。九州各地で演奏会、講習会、審査員などを務める。

若い音楽家の集い代表。佐賀交響楽団理事長。佐賀県音楽協会副会長。佐賀県吹奏楽連盟顧問。佐賀県合唱連盟顧問。日本打楽器協会会員。

えがみ こうし

★江上耕思★ 佐賀大学教育学部中学校課程音楽専攻卒業。平成22年3月佐賀県の県立高等学校を退職し、現在は各スクールバンドへの合奏・クラリネット・フルートの指導、声楽の指導などを行っている。

佐賀交響楽団理事、佐賀県音楽協会副会長、佐賀県吹奏楽連盟顧問。

ますい

★増井ゆかり★ 広島大学教育学部音楽科卒業。現在、ソロ及び伴奏等の演奏活動、また後進の指導にあたる。第47回全日本学生音楽コンクール福岡大会・高校生の部第1位、第40回佐賀県新人演奏会、新人奨励賞受賞。第10回くるめ新人演奏会、特別奨励賞受賞。第6回鳥栖ピアノコンクール、大学・一般の部第1位ならびに鳥栖市長賞受賞。福岡室内合奏団と共演。ドイツにて招待演奏会に出演。第24回佐賀県音楽協会新人賞受賞。

Grace Notes(グレース・ノーツ)所属。

かしい あいこ

★香椎愛子★ くらしき作陽大学音楽学部卒業。第44回佐賀銀行文化財団賞受賞。マリンバソロ、アンサンブルなどの演奏活動のほか、小・中・高校の打楽器講師として活動。自宅にマリンバ教室を開設。出産を機に『赤ちゃんの為にコンサート』『絵本と音楽』を始動する。マリンバアンサンブル『リトマータ』、アルモニア管弦楽団所属。津の里楽団トレーナー。

ますだ

★増田さおり★ 出産後、こどもに読み聞かせをする中で絵本の魅力に惹かれる。そして、たくさんの方に絵本の楽しさやすばらしさを伝える人になりたいという夢を胸に、現在は司会・アナウンス・朗読ボランティアなどの活動を行う。

現在、佐賀新聞社・編集局映像写真部所属。ケーブルテレビにて『佐賀新聞テレビタ刊』担当。ニュースキャスター。

本日は御来場いただき、誠にありがとうございます。

「あらかしコンサート」を長く続けていくために、運営費用の募金をお願いしております。御理解・御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

【 演奏曲目 】

絵本 『花さき山』

独奏 トムトム坊やの大冒険

[作曲] 吉原敏郎

[パーカッションソロ]

吉原敏郎

桜の幻影

[作曲] 安倍圭子

[マリンバソロ]

香椎愛子

故郷

[作詞] 高野辰之 [作曲] 岡野貞一 [編曲] 藤原豊

[ピアノソロ]

増井ゆかり

初恋

[作詞] 石川啄木 [作曲] 越谷達之助

[テノール]

江上耕思

落葉松

[作詞] 野上彰 [作曲] 小林秀雄

絵本 『つみきのいえ』

演奏 スカラムーシュより「ブラジレイラ」

[作曲] Darius Milhaud [編曲] 植田あさ子

縄文アラカシ

昭和42(1967)年に有田町の坂の下遺跡から縄文時代の人々が食料として蓄えていたアラカシの実が大量に出土し、翌年7月にそのうちの1粒が突然発芽した。その後、県立博物館東側の庭で成長し、10mを超える大木になった。

発見されたアラカシの実は、九州大学理学部のC¹⁴測定で4,000年前のものと判明。

